

インドネシア - 2件

1. **ダダン・クスディアナ** 再生可能エネルギー・省エネルギー総局長に着任 - 前エネルギー鉱物資源研究開発庁長官

2020年11月6日



(ダダン・クスディアナ EBTKE 総局長)

アリフィン・タスリフエネルギー鉱物資源相(ESDM)は6日、定年退職となったF.X.スティジャスト氏の後任に、ダダン・クスディアナ前エネルギー鉱物資源研究開発庁長官を再生可能エネルギー・省エネルギー総局長(EBTKE)に任命した。

ESDM省のウェブサイトプレスリリースを通じてアリフィンESDM大臣は、「ダダンEBTKE総局長がGreen経済を通じてCOVID-19後の経済回復プロセスを促進し、国のエネルギーミックスにおける再生可能エネルギー(EBT)のシェアを2025年までに23%に増やすことを期待している。現在、EBTが占めるエネルギーミックスは10%を下回っている。大規模な省エネプログラムと地熱探査活動を実行しなければならない。ESDMでは、2年間(2022-2024)で20地熱鉱区、合計683MWの開発計画を立てている。また、EBT発電は10.44GWしか達していないため、水、バイオエネルギー(都市ごみ)、風力、太陽光からの発電開発推進を期待している。」と述べた。

ESDMでは、競争力のある価格で再生可能エネルギーベースの電力購入が可能となる大統領規制を草案中である。

(出典:11月6日付Bisnis.comウェブサイトニュース)

2. 地熱ロードマップー2025年23%目標

2020年11月19日



(2020年～2024年までに政府による探査予定の20地熱開発鉱区)

エネルギー鉱物資源省(ESDM) 新再生可能エネルギー・省エネルギー総局(EBTKE)イダ地熱局長は、2025年にエネルギーミックス23%を達成するための地熱ロードマップを更新した。現在、設置されている地熱発電所(PLTP)は2,130MWであり、2030年までに5,650MWの追加が必要となる。

イダ地熱局長は、「実際には地熱ロードマップは以前からある。2025年には23%の達成を目標としているため、毎年ロードマップの見直しを行っている。このロードマップには特別な社会性はない。ウェビナーで毎回伝えているように、2019年のロードマップに基づき設置する目標総発電量は8,000MWであった。その後、2020年に更新をし、経済成長、電力成長、およびプロジェクト分野を国営電力会社PT.PLNと電力総局(Ditjen Gatrik)と共に調整した結果、2030年に構築された目標は7,780MWとなった。現在、2,130MWの地熱発電所が設置されており、2030年までに5,650MWの追加が必要であることを意味する。」とRuangEnergi.comに語った。

エネルギー鉱物資源省令2020年第16号地熱に関連する戦略計画は、次の通り。

地熱発電所(PLTP)

西インドネシア地域における今後5年間の追加地熱発電量1,027MWは、アチェ、北スマトラ、西スマトラ、ブンクル、ジャンビ、南スマトラ、ランブン、バンテン、中央ジャワ、東ジャワ、西ジャワである。他方、中央・東インドネシア地域における地熱開発地域は、バリ、西ヌサトゥンガラ(NTB)、東ヌサトゥンガラ(NTT)、マルク、北マルク、北スラウェシ、中央スラウェシ、フローレス島、ヘルマヘラ工業クラスターが含まれる。

地熱発電目標量は、次の方法で達成される。

- リスクとコストを削減するための政府による地熱探査への資金提供
- 地熱プロジェクトの経済性を確保するため、開発者または電気料金政策のリスクにな

らない費用償還の明示として、均等化発電原価(LCOE)インセンティブを提供する

- c. プロジェクト資金へのアクセス提供
- d. 保全地域で開発するための規制とサポート
- e. コミュニティサポートのためのソーシャルエンジニアリング
- f. 経済クラスター開発による需要創出
- g. 管理システムと都市計画の改善における統合とコラボレーション

(上記地図上にある地熱開発鉱区)

No.	鉱区名	州	資源量(MW)	発電容量(MW)
1	ロコップ Lokop	アチェ	41	20
2	シポホロン・リア-リア Sipoholon Ria-Ria	北スマトラ	60	20
3	グヌン・エンドウ Gunung Endut	バンテン	180	40
4	チソロック・チスカラメ Cisolok Cisukarame	西ジャワ	45	20
5	グヌン・ガルングン Gunung Galunggung	西ジャワ	289	110
6	グヌン・タンポマス Gunung Tampomas	西ジャワ	100	45
7	グヌン・チレマイ Gunung Ciremai	西ジャワ	60	55
8	グヌン・パパンダヤン Gunung Papandayan	西ジャワ	195	40
9	グチ Guci	中部ジャワ	100	55
10	グヌン・バトゥル- キンタマーニ Gunung Batur-Kintamani	バリ	58	40
11	スンバルン Sembalun	西ヌサ・トゥンガラ	100	20
12	ナゲ Nage	東ヌサ・トゥンガラ	39	20
13	マリタイン Maritaing	東ヌサ・トゥンガラ	190	30
14	サジャウ Sajau	北カリマンタン	17	13
15	ボラ・プル Bora Pulu	中部スラウェシ	123	40

16	マラナ Marana	中部スラウェシ	70	20
17	ビトゥアン Bittuang	南スラウェシ	28	20
18	リンボン Limbong	南スラウェシ	20	5
19	ジャイロロ Jailolo	北マルク	75	30
20	バンダ・バル Banda Baru	マルク	54	40
		合計	1,844	683

(出典:11月19日付 RuangEnergi.com ウェブサイトニュース)